

Vesalius 原版の行方^{*1}

中 原 泉^{*2}

要旨：A. Vesalius は1543年、the Fabricaによって近代医学の扉を開いた。同書は、人体の構造を科学的かつ系統的に体系化した画期的な解剖書であった。

とりわけ、全文にわたって配された約300枚にのぼる木版の解剖図は、その精緻さと美麗さゆえに“美術解剖”と賞され、同書の価値を一段と高からしめた。

Vesaliusの死後、この解剖図の原版（要約版のthe Epitomeを含む）は、持主の手を離れてヨーロッパ各地を転々とし、いくたびか増版や図集出版を重ね、ときに行方知れずとなり、いわば幻の原版として数奇な運命を辿った。

名著の原版が400年にわたって長い流浪の旅をつづけ、1944年に愚かな所業によって無残に消滅するまでの変遷を記録した。

Key words：the Fabrica, the Epitome, Vesalius, A., 解剖図集

Vesalius 解剖図の原版の変遷

Andreas Vesalius (1514～1564) は1543年、1冊の書物をもって近代医学の扉をひらいた。それは『人体の構造に関する7章の書』¹⁾である。通称をthe Fabrica（構造）というこのラテン語の名著は、人体すべての構造を科学的かつ系統的に体系化した画期的な解剖書であった。

このとき彼は併せて、要約版としてthe Epitome（梗概）²⁾と通称される小著をも出版した。

Fabricaは、解説、図版、傍注を周到に機能的に構成した最高の医学書と評された。とりわけ、全文にわたって配された約300枚にのぼる木版の解剖図は、その精緻さと美麗さゆえに“美術解剖”

と賞され、同書の価値を一段と高からしめた。

これらの解剖図は、作図と板刻と印刷という3つの作業の完璧な勝利であった。

まず作図は、フランドルの画家 Jan Stephan van Kalkar (Calcar 1499～1546) と幾人かの画家仲間が画いたと言われる。彼は Jean de Bruges に学び、ヴェネチアでルネッサンスの巨匠 Titian に師事したという。

Vesalius は1538年4月にヴェネチアで、ガレノス伝統医学を踏襲した『6枚の解剖図 Tabulae Anatomical Sex』を出したあと、「死体さえ入手できれば、Kalkar という優れた画家に解剖図を画いてもらえる。」と記し、彼に全幅の信頼を置いていた。

Kalkar とその仲間は、1539年頃からパドヴァで Vesalius の指導をうけながら、人体の内部構造を正確に丹念にデッサンした。ダ・ヴィンチの透視図法を用いて、パドヴァ郊外の風景をバックに、死体に様々な所作を与えて、動きのある筋肉人、骨格人、神経人などに鮮やかに甦えらせ、芸術性

^{*1} The Whereabouts of the Original Woodcuts in A. Vesalius' Books

^{*2} Sen Nakahara, The Museum of Medicine, The Nippon Dental University at Niigata 医の博物館・日本歯科大学新潟歯学部

本論文の要旨は、日本歯科医史学会第239回例会(1994年6月・東京のモリタホール)において口演した。

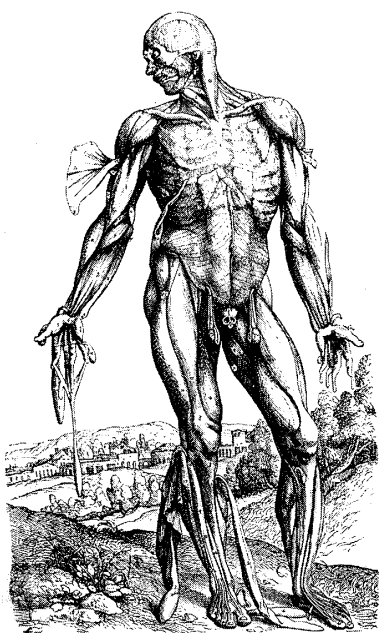


図1 Fabrica の筋肉人の解剖図

の高い解剖図に仕上げた（図1）。

次に Kalkar らの絵図は、隣町のヴェネチアに送られ、勝れた数人の彫師の手により、洋梨の版木に巧みに板刻されていった。彼ら彫師たちの名は、残されていない。

こうして出来上がった図版と原稿の膨大な束は、驢馬に乗せてアルプスを越え、はるかフランス国境に近いスイスのバーゼルに運ばれた。Vesalius は、伝統医学を信奉するガレノス学派の妨害と、印刷業者によるハイエナのごとき剽窃を極度に恐れていた。

バーゼルには、出版業者 Johannes Oporinus (1507～1568) がいた。彼は一時期、バーゼル大学の内科学教授だった稀代の天才 Paracelsus の弟子で、自らもギリシア文学の教授をつとめた。人文学者から出版業者に転じた、反骨精神の持主であったという。Oporinus は、この新著出版の意義を十分に認識していた。Vesalius は、そんな彼に絶大な信頼を寄せていたのだ。

Oporinus はその負託にこたえて、秘密保持に碎心しながら、多勢の職工を駆使して精力的に作業をすすめた。まず解剖図のあるページは、図版を避ける形で活字の版を組んでいく。次いで1枚の用紙に図版と組版を別々に印刷し、2度刷りでページ面を鮮明に刷りあげた。



図2 Fabrica の“考える骨格人”

こうした彼らの献身的なエネルギーにより、出稿から僅か1年足らずで翌1543年8月、大判フォリオの690ページの大著 Fabrica は上梓された。Epitome は、それに先だって6月に出版された。当時の印刷技術からみて、驚異的なスピードであった。

この出版が医学に一大革命をもたらし、解剖学を一夜にして近代化し、医学を Science に列した。Fabrica と Epitome が、近代医学の原典といわれる由縁である。

それから12年後（1555年）、Vesalius は Fabrica と Epitome の第2版をバーゼルにて改訂出版した。印刷作業は再度、盟友 Oporinus が担当した。

しかし、1564年 Vesalius はエルサレム巡礼の帰途、ギリシアのザンテ島で不慮の客死を遂げ、あとを追うように Oporinus も4年後に死去する。

その後、解剖図の原版は持主の手を離れて欧州各地を転々とし、いくたびか増版や図集出版を重ねながら、ときに行方知れずとなり、いわば幻の原版として数奇な運命を辿った。それは、トロイア戦争の勇者オデュッセウスの漂泊を綴ったホメロスの長編叙事詩『Odyssey』の物語に喩えられる（図2）。

すなわち、名著の原版は以下に記録するように、400年にわたって長い流浪の旅をつづけることになる。

1538年 4月、北イタリアのヴェネチアにて、『6枚の解剖図 Tabulae Anatomical Sex』を出版する。

1539年 この年より、パドヴァで Fabrica の執筆と作図に着手する。解剖図は Vesalius の指導を受けて、Jan Stephan van Kalkar ら幾人かの画家たちが描いた。

1540年 この年より、本格的に解剖書出版の作業をすすめる。

1541年 この年までに、Fabrica の7章のうち1, 2章（全体の半分以上）を脱稿していたという。解剖図は画きあがった分から、隣町のヴェネチアで数人の優れた彫師の手により、次々に洋梨の版木に板刻されていった。

1542年 8月初めに、Fabrica の原稿と木版を完成する。8月中旬に、Epitome の原稿とその木版もできる。

両書の原稿と解剖図の原版の膨大な束は、8月末にヴェネチアから驢馬に乗せてアルプスを越え、はるかフランス国境に近いスイスのバーゼルに運ばれる。

9月下旬、バーゼルの出版業者 Johannes Oporinus は、多勢の職工を駆使して精力的に植字の作業をはじめめる。

1543年 6月、印刷は完了し、製本にかかる。先に小著 Epitome を上梓する。

8月、バーゼルにて大著 Fabrica を出版する。

同月、バーゼル大学医学部の教授 Albanus Torinus の訳により、Epitome のドイツ語版がバーゼルで出版される。

1546年 J. S. Kalkar 死去。

1551年 40枚の解剖図を含む Fabrica のドイツ語の簡略版が、ドイツのニュールンベルグで出版される。

1552年 解剖図のない Fabrica のフランス語の簡略版が、フランスのリヨンで出版される。

1555年 Vesalius は、Fabrica の第2版³⁾をバーゼルにて改訂出版する。併せて、Epitome の第2版も上梓する。

1560年 解剖図のない Epitome が、パリで出版される。

1564年 10月、A. Vesalius 死去。

1568年 J. Oporinus 死去。

出版業者 Francesco Senense により Fabrica (第3版) が、ヴェネチアで死後出版される。

1569年 Epitome のオランダ語版が、ベルギーのブルグスで出版される。

1582年 解剖図のない Epitome が、ドイツのウィテンベルグで出版される。

1583年 解剖図の原版はバーゼルで売りにだされ、出版業者 Felix Plater が入手する。

この年に Plater により Fabrica (第4版) が、バーゼルで死後出版される。

Plater の死後、原版はバーゼルの大出版社 Jerome Froben 家の手に渡り、1603年に3代目が出版業を廃業するまで同家に保管されていた。

1603年 同家を継承した Ludwig König が、原版を受け継ぐ。

解剖図のない Epitome が、ウィテンベルグで出版される。

1604年 König により Fabrica (第5版) が、ヴェネチアで死後出版される。

17世紀初 期 その後、原版は行方不明になるが、ドイツのアウグスブルグで見つかる。約1世紀の間、原版は同地に在った。

18世紀初 期 アウグスブルグの出版業者 Andreas Maschenbauer が、原版を入手する。

1706年 Maschenbauer が、画家と彫刻家に役立てるため、ルネッサンスの巨匠 Titian の指導による版画と銘打って、アウグスブルグにて Fabrica の図集『ブリュッセルの人 Andreae Vesalii による最高の人体構造の解剖書 Andreae Vesalii Bruxelensis Dess Ersten Besten Anatomici, Zergliederung Dess Menschlichen Körpers』(第1版)を出版する。

1723年 Maschenbauer が、同地で同図集を再版(第2版)する。

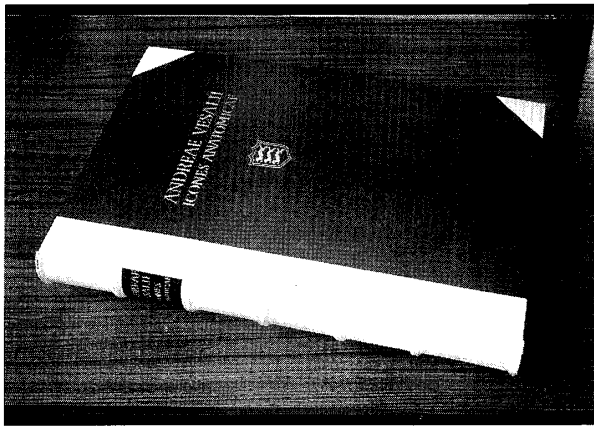


図3 Vesalius の解剖図集 (医の博物館所蔵)

1725 年 オランダの医学者 Hermanni Boerhaave と B. S. Albini が編纂し、オランダのライデンにて『Andreas Vesalius の解剖・外科学全集 *Andrae Vesalii Opera Omnia Anatomica & Chirurgica*』⁴⁾を出版する。

18 世紀 中 頃 原版は再び行方知れずになるが、約半世紀の間、引きつづきアウグスブルグに在った。

1770 年 頃 内科医 von Woltter がアウグスブルグで原版を見出して入手し、同国(ドイツ)のインゴルシュタットに移す。

1777 年 ライプチヒの出版業者 Crusius が原版を入手し、インゴルシュタット大学につとめるバヴァリアの解剖学者・外科医 Heinrich Palmaz Leveling に委ねる。その際、インゴルシュタット大学の図書館が Leveling に助力したという。

1781 年 Leveling は、寄付金により Fabrica と Epitome の一部の原版から、インゴルシュタットにて図集『*Andreas Vesalius* による原図の解剖書 *Anatomische Erklärungder Original Figuren von Andreas Vesal*』を出版(第1版)する。

1783 年 Leveling は、同地で同図集を再版(第2版)する。

1800 年 フランス軍の侵入により、インゴルシュタット大学は図書館ともども、同国(ドイツ)のランツフートに移転する。

19 世紀 そのあと、原版は同国のミュンヘン大学の図書館に移される。そこで使用されない書棚に放置され、そのまま忘れ去られ

表1 原版の所在と出版

西暦年	所 在 地	出 版 物
1543 年	スイスのバーゼル	Epitome 初版
	〃	Fabrica 初版
1555 年	スイスのバーゼル	Fabrica 2 版
	〃	Epitome 2 版
1568 年	イタリアのヴェネチア	Fabrica 3 版
1583 年	スイスのバーゼル	Fabrica 4 版
1604 年	イタリアのヴェネチア	Fabrica 5 版
17 世紀	ドイツのアウグスブルグ	
1706 年	〃	Fabrica 図集初版
1723 年	〃	Fabrica 図集 2 版
1725 年	オランダのライデン	Fabrica 編纂版
1770 年頃	ドイツのインゴルシュタット	
1781 年	〃	Fabrica 図集初版
1783 年	〃	Fabrica 図集 2 版
1800 年	ドイツのランツフート	
19 世紀	ドイツのミュンヘン	
1934 年	アメリカのニューヨーク	Fabrica 図集
	ドイツのミュンヘン	
1944 年	ドイツのミュンヘン	焼失

る。

1893 年 90 余年後、ミュンヘン大学の図書館員 Hans Schnorr von Carolsfeld が、図書目録に原版の項目を認め、館内で塵に埋もれた数枚の原版を発見する。

1932 年 ニューヨーク医学協会の書誌学コンサルタント Leonard L. Mackoll の助言を得て、Fabrica の原版を調査していたニューヨークの医学者 Samuel W. Lambert は、ミュンヘン大学図書館に眠っていたタイトルページを除く原版 227 枚(Epitome の大部分を含む)を再発見する。ただし約 50 枚と、著者の肖像の原版はすでに失われていた。

(タイトルページの原版は、誤ったルートでアントワープのコレクターが入手していた。その後、Vesalius に縁の深いオランダのルーベン大学の図書館に寄贈された)

これを機に、ニューヨークの the Bremer Presse は、ニューヨーク医学協会に、ミュンヘン大学の図書館長 Adolf Hilsenbeck と共同で復刻版を出版すべきであると提案する。

1934 年 ニューヨーク医学協会とミュンヘン大学図書館の編纂、the Bremer Presse の印

刷により、残された原版から『解剖図集
 Andreæ Vesalii Bruxellensis Icones
 Anatomicae』⁵⁾が、ニューヨークとミュ
 ンヘンにて出版される。同書は 615 部の
 限定版で、Vesalius の原版を用いた最後
 の出版となる (図 3)。
 1944 年 第 2 次大戦下の 7 月 16 日、ミュンヘン大
 学は連合軍の空爆をうけ、図書館に保管
 されていた原版はすべて焼失した。Fa-
 brica 初版の出版から、400 年後のこと
 ある (表 1)。

文 献

- 1) Andreas Vesalius : De Humani Corporis Fabrica Libri Septem, Basel, 1543.
- 2) Andreas Vesalius : De Humani Corporis Fabrica Librorum Epitome, Basel, 1543.
- 3) Andreas Vesalius : De Humani Corporis Fabrica Libri Septem, Basel, 1555.
- 4) Hermanni Boerhaave, Bernhardi Siegfried Albini : Andreæ Vesalii Opera Omnia Anatomica & Chirurgica, Leiden, 1725.
- 5) Andreæ Vesalii Bruxellensis Icones Anatomicae, the Bremer Presse, New York, Munich, 1934.
- 6) Mortimer Frank 訳, Ludwig Choulant : History and bibliography of anatomic illustration, U. of Chicago Press, Chicago, 1920.
- 7) Harvey Cushing : Bio-bibliography of Andreas Vesalius, Schuman's, New York, 1943.
- 8) L. R. Lind : The Epitome of Andreas Vesalius, The M. I. T. Press, Cambridge, London, 1949.
- 9) J. B. deC. M. Saunders, Charles D. O'Malley : The illustrations from the works of Andreas Vesalius of Brussels, The World Publishing Company, Cleveland, New York, 1950.
- 10) Charles Singer : A short history of anatomy and physiology from the Greeks to Harvey, Dover, New York, 1957.
- 11) Andreas Vesalius : De Humani Corporis Fabrica Libri Septem, Culture et civilisation, Brussels, 1964.
- 12) アンドレアス・ヴェザリウス人体構造論, 講談社, 東京, 1976.
- 13) J. B. deC. M. Saunders, Charles D. O'malley : The anatomical drawings of Andreas Vesalius, Bonanza Books, New York, 1982.
- 14) K. B. Roberts, J. D. W. Tomlinson : The fabric of the body European traditions of anatomical illustrations, Clarendon Press, Oxford, 1992.